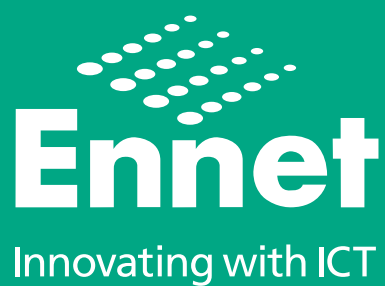




株式会社エネット
2018



エネットは、エネルギーとICTの新たな価値で 持続可能な社会に貢献します。

エネットは、新電力のリーディングカンパニーとして、エネルギー & ICTの新たな価値で持続可能な社会に貢献します。脱炭素社会の実現に向けた付加価値提供により、お客さまに選ばれ続ける総合エネルギーサービス企業を目指しています。

社長メッセージ

2000（平成12）年7月の設立以来、LNG（液化天然ガス）発電をはじめ、太陽光・水力・バイオマス・風力といった再生可能エネルギーも積極的に調達し、クリーンで安定した電気を全国のお客さまに供給してまいりました。社名であるエネット（Ennet）は、エネルギー（Energy）とICT（Network）を組み合わせ、「人・社会・地球環境の持続可能な発展に向け、エネルギーとICTを活用しながら新たな価値を創出し続ける」というコンセプトを表したものです。

当社は全国10電力会社エリアのお客さまに電気をお届けするとともに、CO₂排出量低減メニュー EnneGreen やAIを活用した省エネルギーサービス Enneteye をはじめとした付加価値サービスを提供し、お客さまの事業活動に伴うCO₂排出量の低減や施設の省エネルギーに対するニーズにお応えしています。

これからも私たちは、お客さまに選ばれ続ける総合エネルギーサービス企業として、エネルギーとICTを組み合わせた新たな価値を提供し、持続可能な社会に貢献してまいります。

代表取締役社長 川越 祐司

企業概要 2019年3月末現在

社名	株式会社エネット（英文名：ENNET Corporation）
設立	2000（平成12）年7月7日
資本金	63億円
共同出資社	株式会社NTTファシリティーズ 東京ガス株式会社 大阪ガス株式会社
所在地	本社：東京都港区芝公園二丁目6番3号 芝公園フロントタワー
	西日本事業本部：大阪府大阪市中央区平野町四丁目1番2号
電話番号	0120-2233-79
事業内容	・小売電気事業 ・省エネルギーに関するコンサルティング

エネットの環境方針

エネットは新電力のリーディングカンパニーとして、環境に調和したエネルギー利用を通じて、地球環境の保全と社会の持続的な発展に貢献していきます。

1.環境に調和したエネルギー供給

天然ガスや再生可能エネルギー等を組み合わせた環境負荷の小さな電力の供給及びCO₂排出係数ゼロメニューの提供を通じて、お客さまの様々な環境保全ニーズに応えるとともに、再生可能エネルギーの普及拡大を後押しします。

2.情報技術を活用した環境負荷の低減

情報技術を活用して環境保全に資するサービスの開発を推進します。

3.事業活動における環境負荷低減

事業活動におけるエネルギー、資源の有効利用に努めます。また、事業活動に伴う温暖化ガス排出量の低減に取り組みます。

4.地域社会との環境パートナーシップの強化

再生可能エネルギーの地産地消の支援及び環境保全に資するサービスの提供を通じて、地域社会に貢献します。

5.環境法令の遵守

環境関連の法規制を遵守します。また、環境保全の取り組みを継続的に改善していきます。

エネットの取り組み

エネットは新電力のリーディングカンパニーとして、電気事業における低炭素社会実行計画に取り組んでいます。

低炭素社会実行計画の策定

電気事業者46社^{※1}は、電気事業低炭素社会協議会^{※2}を設立し、「電気事業における低炭素社会実行計画」を策定するとともに、それぞれの事業形態に応じた取り組みを結集し、低炭素社会の実現に向けて取り組んでいます。

※1 2019年4月時点

※2 電気事業低炭素社会協議会ホームページ <https://e-lcs.jp/>

エネットにおける主な取り組み

- ① 再生可能エネルギーの活用を図る
- ② 火力発電の高効率化等に努める
- ③ 低炭素社会に資するお客さま省エネ・省CO₂サービスの提供に努める

エネットの年度別CO₂排出係数^{※3}の推移

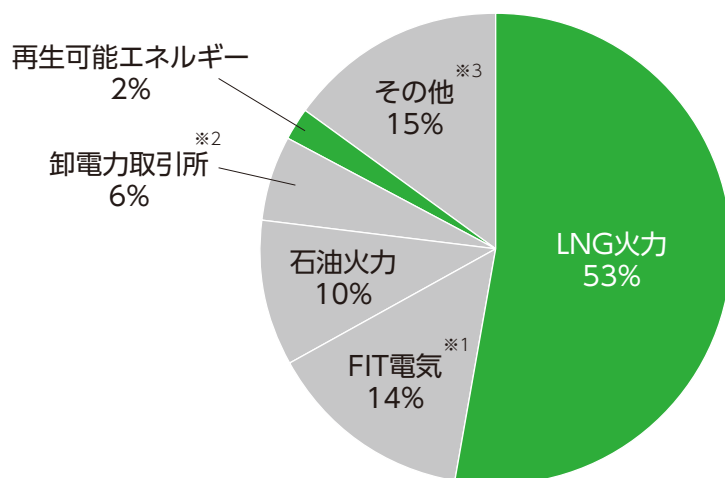
(単位: kg-CO₂/kWh)

2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
0.436	0.429	0.409	0.408	0.427	0.443	0.462	0.441	0.441	0.441	0.450

※3 事業者全体の調整後排出係数

エネットの電源構成 (2018年度)

電力供給においては、株主のLNG（液化天然ガス）発電所や、自社の発電所に加え、工場等の自家発電機を中心に活用しています。また、環境配慮型の電源も活用することで、CO₂排出量の削減にも貢献しています。



当社は再生可能エネルギー及びトラッキング情報付非化石証書を組み合わせたFIT電気を特定するメニュー（EnneGreen）を一部のお客さまに対して販売しており、それ以外の電源を特定していないメニューの電源構成はグラフの通りです。

※1 この電気を調達する費用の一部は、エネット以外のお客さまも含めて電気の利用者が負担する賦課金によって賄われており、CO₂が排出されないことを始めとする再生可能エネルギーとしての価値を訴求するにあたっては、制度上、非化石証書が必要とされています。エネットが販売するFIT電気は、CO₂排出量について火力発電等も含めた全国平均の電気のCO₂排出量を持った電気として扱われます。

※2 この電気には、水力、火力、原子力、FIT電気、再生可能エネルギー等が含まれます。

※3 旧一般電気事業者からのインバランス（補給）供給を受けた電気と他社から調達している電気の一部で発電所が特定できないもの及び構成比が0.5%未満のものは「その他」扱いとしています。なお、旧一般電気事業者の不特定の発電所から継続的に卸売を受けている電気（常時バックアップ）については、各社の2018年度の電源構成に基づき仕分けしています。

※4 構成比は、小数点以下第1位で四捨五入しています。

当社の2018年度のCO₂排出係数（調整後排出係数）は以下の通りです。

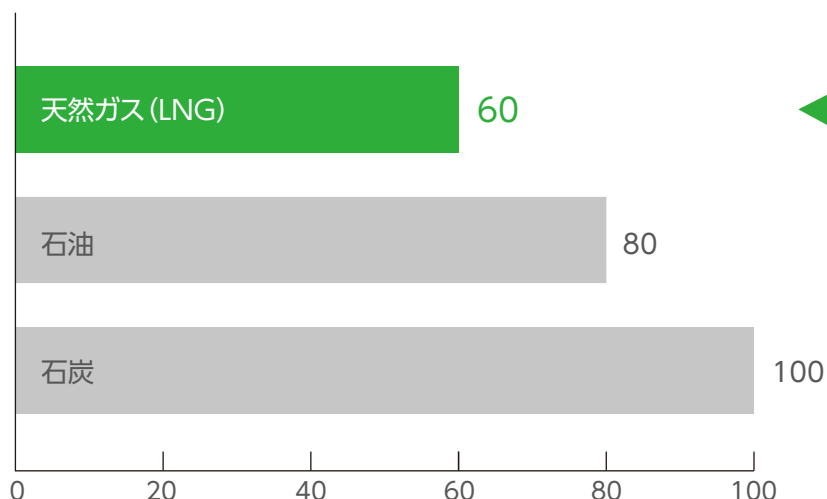
（単位：kg-CO₂/kWh）

メニューA：	EnneGreen契約のメニュー（100%再生可能エネルギー）	0.000
メニューB：	EnneGreen契約のメニュー（FIT電気+非化石証書）	0.000
メニューC（残差）：	通常契約のメニュー	0.450
（参考）事業者全体		0.442

LNG（液化天然ガス）発電所によるCO₂排出量の削減

環境負荷の低い最新鋭高効率のLNG（液化天然ガス）発電所の運転により、日本全体としてのCO₂排出量の削減にも貢献しています。

◎ 石炭を100とした場合のCO₂排出量比較（燃焼時）



LNG（液化天然ガス）はCO₂排出量が少ない！

メタン（CH₄）を主成分とするLNG（液化天然ガス）は、石油や石炭に比べ、分子中の炭素原子（C）の割合が小さいため、燃焼時のCO₂排出量が少なく、環境貢献に適しています。

出典：「エネルギー白書2010」資源エネルギー庁

お客さまに電気を供給している発電所は全国に広がっています。環境負荷の低いLNG（液化天然ガス）発電所を中心に全国200箇所以上の電源を活用しています。

全国200箇所以上の 電源活用

泉北天然ガス発電所

大阪府

大阪ガス



F西宮太陽光発電所

兵庫県

NTTファシリティーズ



F佐倉太陽光発電所

千葉県

NTTファシリティーズ



広川明神山風力発電所

和歌山県

大阪ガス



東京ガスベイパワー発電所

千葉県

東京ガス



川崎天然ガス発電所

神奈川県

東京ガス



扇島パワーステーション

神奈川県

東京ガス



(株)イースクエア発電所

千葉県

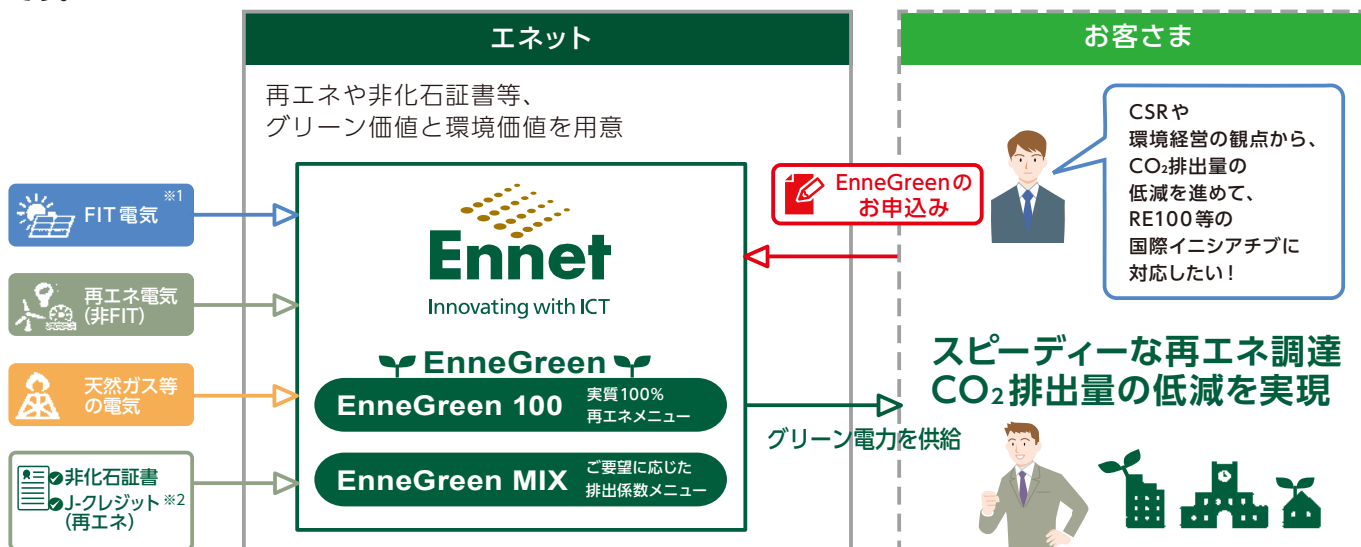


エネットの付加価値サービス

エネットは多様なサービスの提供を通じて、お客さまのCO₂削減や利便性向上を支援します。環境負荷の低減に向けて、エネットとお客さまが協調してCO₂削減に取り組むことで、未来の低炭素社会の実現を目指します。

CO₂排出量低減メニュー EnneGreen®

EnneGreen (エネグリーン) は、お客さまの再生可能エネルギー調達やCO₂排出量の低減をサポートするサービスです。



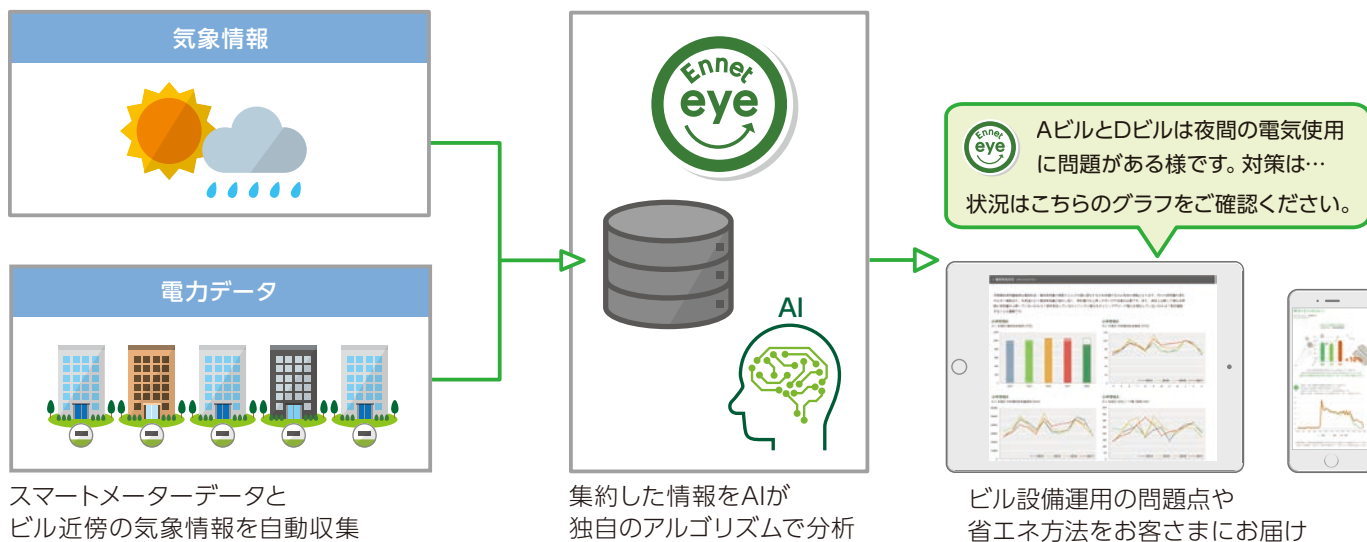
※1 この電気を調達する費用の一部は、当社以外のお客さまも含めて電気の利用者が負担する賦課金によって賄われており、CO₂が排出されないことを始めとする再生可能エネルギーとしての価値を訴求するにあたっては、国の制度上、非化石証書の使用が必要です。

※2 お客さまに代わりJ-クレジットを償却することで、お客さまが使用する電気を実質再生エネ化及びCO₂排出量ゼロにします。

提供対象：特別高圧、高圧及び低圧のお客さま（沖縄電力エリア、島嶼部を除く）

AIを活用した省エネルギーサービス Enneteye®

Enneteye (エネットアイ) は、お客さま施設の電力データをスマートメーターを通じて自動的に収集し、AIを活用して解析、問題点の抽出や省エネ方法のレポートをお届けするサービスです。



スマートメーターデータとビル近傍の気象情報を自動収集

集約した情報をAIが独自のアルゴリズムで分析

ビル設備運用の問題点や省エネ方法をお客さまにお届け

提供対象：特別高圧、高圧及び低圧のお客さま（沖縄電力エリア、島嶼部を除く）

SDGsへの取り組み

電力は私たちの社会に不可欠なものです。エネットは総合エネルギーサービス企業の立場から、社会に対する企業の責任を深く自覚し、エネットならではの方法でSDGs*の達成に貢献していきます。

*SDGsとは、2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」のことです。社会が抱える問題を解決し、世界全体で2030年を目指して明るい未来を作るための17のゴールと169のターゲットで構成されています。

エネットは、お客さまの環境保全ニーズに応えるメニュー・サービスの提供、事業活動における環境負荷低減を通じて、右の5つの目標でSDGsの達成に貢献していきます。



取り組み1: CO₂排出量低減メニュー EnneGreen の提供

近年、RE100 (Renewable Energy 100%) やSBT (Science Based Targets) といった国際イニシアチブや、国内向けでは再エネ100宣言 (RE Action) が発足する等、CO₂排出量削減の気運は世界的な高まりを見せています。エネットはお客さまの環境保全ニーズにお応えするために、通常メニューよりもCO₂排出量を抑えた「EnneGreen」をご用意しています。

EnneGreen
導入実績

約170件

(2019年3月末現在)

取り組み2: AIを活用した省エネルギーサービス Enneteye の提供

エネットが開発したAIを活用した省エネルギーサービス「Enneteye」は、お客さま施設の電力データをスマートメーターを通じて自動的に収集し、AIを活用して解析、問題点の抽出や省エネ方法のレポートをお届けするサービスです。お客さまの環境保全ニーズを、省エネを通じて強力にサポートします。

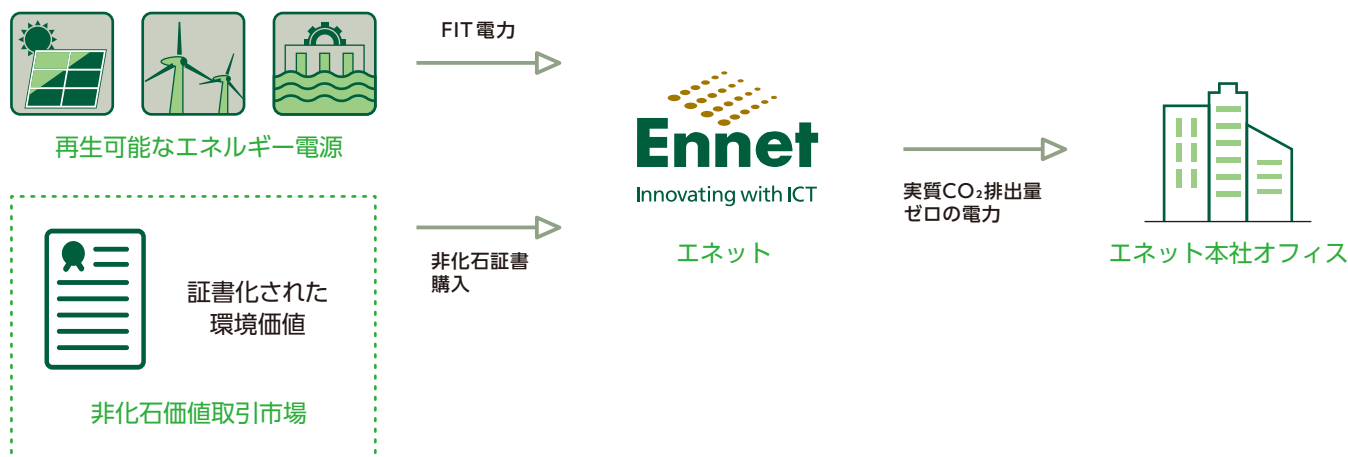
Enneteye
導入実績

約4,100件

(2019年3月末現在)

取り組み3: 事業活動に伴うCO₂排出量オフセット

エネットが調達した再生可能エネルギー固定買取制度 (以下、FIT) による電力を、エネット本社が入居するビルに供給しています。このFIT電力に、非化石価値取引市場から購入した非化石証書を組み合わせることで、実質CO₂排出量ゼロの電力供給を実現しています。



● 環境報告書の内容に関するご意見、お問合せ

 **0120-22-3379**

● 最新情報はWebサイトでご覧いただけます

<http://www.ennet.co.jp/>

※環境報告書の対象期間：2018年4月1日～2019年3月31日
※発行月：2020年5月